平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月30日

上場会社名　日本精蝋株式会社　　上場取引所　東
コード番号　5010　URL　http://www.seiro.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 井上　寛
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長　(氏名) 細田　八朗　TEL 03-3538-3061

四半期報告書提出予定日　平成25年8月14日　配当支払開始予定日　平成25年9月9日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	20,041	△3.7	22	―	60	―	32	△93.5
24年12月期第2四半期	20,815	5.3	△21	―	△144	―	498	△56.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	1.63	―
24年12月期第2四半期	24.60	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	30,198	10,632	35.2
24年12月期	30,635	11,316	36.9

(参考) 自己資本　25年12月期第2四半期　10,632百万円　24年12月期　11,316百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	―	5.00	―	5.00	10.00
25年12月期	―	5.00			
25年12月期(予想)			―	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年12月期の業績予想(平成25年 1月 1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,200	△9.7	650	123.5	500	135.5	450	△29.9	24.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	： 有
② ①以外の会計方針の変更	： 無
③ 会計上の見積りの変更	： 有
④ 修正再表示	： 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	22,400,000 株	24年12月期	22,400,000 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	4,925,412 株	24年12月期	2,414,412 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	19,805,240 株	24年12月期2Q	20,273,287 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1．当四半期決算に関する定性的情報（３）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 4
４．四半期財務諸表 …… 5
（１）四半期貸借対照表 …… 5
（２）四半期損益計算書 …… 7
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（７）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間(平成25年１月１日～平成25年６月30日)のわが国経済は燻ぶり続ける欧州の債務問題、中国をはじめとするアジア経済の成長鈍化、米国景気の回復遅れ等不透明な状況の中、金融緩和による円安と企業業績の回復期待による株高に加え消費マインドの改善もあり、景気持ち直しの兆しが見え始めました。一方、原油相場は米国WTI原油が90ドル／バレル台前半で推移したのに対し、東南アジア産原油は需給の軟化を背景に110ドル／バレル台から100ドル/バレル台で推移しました。また、外国為替相場は年初の86円／ドル台から円安が進行し６月末には99円／ドル台をつけるに至りました。

このような状況の中で、円安による原料コストの上昇分を吸収すべく効率生産、採算販売、コスト低減等を基本として売上高の拡大と収益の改善に努めました。

この結果、ワックス販売は国内では汎用品の低迷が続いたものの輸出販売では出火事故による減産・減販から回復し前年同期に比較して販売数量では3,623トン増の35,018トン、販売高では577百万円増の8,694百万円の実績、重油販売は火力電力用需要が第２四半期に弱含みとなり販売数量では24,751キロリットル減の152,979キロリットル、販売高では1,338百万円減の11,267百万円の実績となりました。

これにより、当第２四半期累計期間の実績は、前年同期に比較して売上高ではその他商品を含めて774百万円減の20,041百万円、利益面では棚卸資産評価損293百万円等の影響により営業利益で43百万円増の22百万円、経常利益で205百万円増の60百万円、四半期純利益では出火事故の保険金収入が第３四半期以降にズレ込んだため466百万円減の32百万円となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

①財政状態

(資産)

当第２四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比較して437百万円減の30,198百万円となりました。これは主として、有形固定資産の減少額177百万円、たな卸資産の減少額114百万円、受取手形及び売掛金の減少額50百万円、現金及び預金の減少額30百万円によるものです。

(負債)

負債合計は、前事業年度末に比較して247百万円増加の19,566百万円となりました。これは主として、未払金の増加額361百万円、短期借入金の増加額320百万円、長期借入金の減少額241百万円、修繕引当金の減少額140百万円、退職給付引当金の減少額107百万円等によるものです。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比較して684百万円減少の10,632百万円となりました。これは自己株式の増加額647百万円、利益剰余金の減少額67百万円等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比較して179百万円増加し、858百万円となりました。

当第２四半期累計期間における区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、927百万円(前年同期比4,539百万円収入増)となりました。これは主として税引前四半期純利益45百万円、減価償却費470百万円、未払金の増加額355百万円、未払消費税等の増加額165百万円、たな卸資産の減少額114百万円、修繕引当金の減少額140百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、68百万円(前年同期比838百万円支出減)となりました。これは有形及び無形固定資産の取得による支出278百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、664百万円(前年同期比5,078百万円支出増)となりました。これは主として長期借入れによる収入500百万円、短期借入金の純増額266百万円、自己株式の取得による支出647百万円、長期借入金の返済額672百万円等によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、ユーロ圏および中国の成長減速懸念に加え、原油相場や為替相場の動向、金融緩和による国内景気の動向等引続き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況の中で、昨年２月の出火事故を踏まえ、安全操業の一層の徹底を図るとともに、引続き効率生産、採算販売、コスト低減等を基本に売上高の拡大と収益の改善に注力し、併せて経営方針に掲げる「原料の多様化や高価格化に対応した新ビジネスモデルの確立」をはじめとする経営諸課題に引続き取組んでまいります。

平成25年２月14日に公表いたしました業績予想につきましては、現在先行きの情勢を含めて精査中のため現時点では変更ございません。なお、現在交渉中である出火事故に係る火災保険の保険金収入が確定した時点で想定を見直しのうえ修正する予定です。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期会計期間より、平成25年１月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	888	858
受取手形及び売掛金	5,016	4,966
商品及び製品	6,227	6,237
原材料及び貯蔵品	3,297	3,173
前払費用	115	64
繰延税金資産	135	188
その他	216	192
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	15,892	15,675
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	889	861
構築物（純額）	866	866
機械及び装置（純額）	2,471	2,303
土地	9,411	9,411
建設仮勘定	63	116
その他（純額）	308	274
有形固定資産合計	14,011	13,834
無形固定資産	279	245
投資その他の資産	451	443
固定資産合計	14,742	14,522
資産合計	30,635	30,198
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,029	1,041
短期借入金	9,772	10,092
未払金	613	974
未払法人税等	66	34
預り金	461	463
賞与引当金	35	26
修繕引当金	163	23
設備関係支払手形	7	21
その他	98	198
流動負債合計	12,247	12,875
固定負債		
長期借入金	3,576	3,335
リース債務	33	29
再評価に係る繰延税金負債	3,053	3,053
退職給付引当金	246	138
その他	161	133
固定負債合計	7,071	6,690
負債合計	19,318	19,566

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第２四半期会計期間 (平成25年６月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,120	1,120
資本剰余金	14	14
利益剰余金	5,221	5,153
自己株式	△598	△1,245
株主資本合計	5,757	5,041
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7	23
土地再評価差額金	5,566	5,566
評価・換算差額等合計	5,559	5,590
純資産合計	11,316	10,632
負債純資産合計	30,635	30,198

（２）四半期損益計算書
第２四半期累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）	当第２四半期累計期間 （自 平成25年１月１日 至 平成25年６月30日）
売上高	20,815	20,041
売上原価	19,674	18,917
売上総利益	1,141	1,123
販売費及び一般管理費	1,162	1,101
営業利益又は営業損失（△）	△21	22
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	5
受取賃貸料	102	116
為替差益	―	89
その他	34	35
営業外収益合計	142	246
営業外費用		
支払利息	119	98
為替差損	32	―
固定資産賃貸費用	98	91
その他	16	18
営業外費用合計	265	208
経常利益又は経常損失（△）	△144	60
特別利益		
受取保険金	1,000	―
特別利益合計	1,000	―
特別損失		
固定資産除却損	15	15
特別損失合計	15	15
税引前四半期純利益	840	45
法人税等	341	12
四半期純利益	498	32

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）	当第２四半期累計期間 （自 平成25年１月１日 至 平成25年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	840	45
減価償却費	569	470
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0	－
賞与引当金の増減額（△は減少）	△0	△9
修繕引当金の増減額（△は減少）	△150	△140
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△51	△107
受取利息及び受取配当金	△5	△5
支払利息	119	98
為替差損益（△は益）	73	14
受取保険金	△1,000	－
固定資産除却損	15	15
売上債権の増減額（△は増加）	△1,470	50
たな卸資産の増減額（△は増加）	470	114
仕入債務の増減額（△は減少）	△3,320	12
未払金の増減額（△は減少）	651	355
未払消費税等の増減額（△は減少）	△161	165
その他	274	3
小計	△3,143	1,082
利息及び配当金の受取額	5	5
利息の支払額	△114	△101
保険金の受取額	500	－
法人税等の支払額	△857	△58
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,611	927
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の解約による収入	－	210
定期預金の預入による支出	△210	－
有形及び無形固定資産の取得による支出	△647	△278
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
その他	△50	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△907	△68
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	5,132	266
長期借入れによる収入	120	500
長期借入金の返済による支出	△625	△672
配当金の支払額	△202	△100
自己株式の取得による支出	△0	△647
その他	△10	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,414	△664
現金及び現金同等物に係る換算差額	△56	△14
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△161	179
現金及び現金同等物の期首残高	1,512	678
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,350	858

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

前第２四半期累計期間(自　平成24年１月１日　至　平成24年６月30日)

当社は、石油精製及び石油製品の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第２四半期累計期間(自　平成25年１月１日　至　平成25年６月30日)

当社は、石油精製及び石油製品の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。